あなたの望む成功は、今日の延長線上に見えていますか？

ようこそ、
非日常の入り口へ

１３歳で生死を彷徨い、１７歳で１億円を稼ぎだした和佐大輔が
体の感覚と引き換えに得た、見えないものを見る力

「実は僕、首の骨を折ってから、人には見えないものが
見えるようになったんですよ（笑）」

彼は、笑いながら僕にこう言ったのです…

こんにちは、三浦洋之と申します。

今、この手紙を読んでいるということは、あなたは現在の日常に何らかの刺激や変化を求めているのだと思います。

時間的には忙しい。でも、心はずーっと暇。

もしもあなたの日常がそうであるならば、これから僕がする話は「東京オリンピック」よりはマシなインパクトを、あなたの世界に与えることができるでしょう。

ただ、その話があなたにとって聞く価値があるものなのかを判断してもらうためにも、少しだけ自己紹介をする時間を僕にください。

以下が僕の略歴になります。

７歳、父が宝くじで１億円に当選…のち散財。

１５歳、ゲーマーから一転、モテたくて高校デビュー。

１９歳、失恋のショックで専門学校を半年で中退。イタリアへ。

２３歳、サラリーマンになるも肌が合わず１年で退職。

２６歳、コンビニのアルバイトすらクビに。

３０歳、月収１３万円で貯金０円。独身。

馬鹿に頭を下げるくらいなら、
金なんていらない。

１５歳で高校デビューを決意したあの日から、僕はそう思いながら生きてきました。

おかげで１０社以上の企業で働き１０回以上退職するという謎のサイクルに突入し、結局３０歳の時点で月収は１３万円しかなく貯金は０円。

挙句の果てには、周りの友達に「社会不適合者」とか、「会社を辞めたくなったら洋之に辞め方を教えてもらえ」といった笑えない冗談を言われるようになっていました。

だけど、

本当にイカレてるのはどっちだ？

・品格よりも損得勘定が先行し、些細なことに対しても理不尽な態度で
　キレてくる自称神様のお客様

・俺様の命令は絶対だと言わんばかりに社外の飲み会の席ですら部下に
　威張り散らすくせに、目上の存在の前では全力でヘコヘコする上司

・スポーツ新聞の受け売りのような噂話と仕事の愚痴しか
　会話のネタが無く、ひっきりなしにため息をつく同僚

このように、もしもこれが会社ではなく学校だったなら、絶対に友達になりたくないような人や、ただ自分よりも歳が上なだけの人の命令に従わざるを得ないことを、甘んじて受け入れることが大人になるということなのか？

アホくさ。

そうやって僕は、変わることを要求する世界を否定し、当然の事のように変わっていく他人も否定し続けて、２０代を過ごしてきました。

どんなに考えても、やりたいことなんて全然見つからないくせに、やりたくないことだけは腐るほどある。

当然そんな自分勝手な奴が他人に認められるはずもなく、カーテンもエアコンも無い絶望にまみれたマンションの１室で、１日３食をコンビニの菓子パンで過ごすような生活を僕は送っていました。

そんなお先真っ暗だった２６歳の夏に、僕は“あの男”に出会ってしまったのです。

たった３０分で書き上げられた１枚の企画書。
３ヶ月後、その男の描いたシナリオ通りに
１０００万円規模のビジネスが誕生していた。

その男の名は、**和佐大輔**。

彼は１３歳の時、事故により首の骨を圧迫骨折し頚椎損傷という障害を負ったため、その後の人生を車いすの上で過ごすことを余儀なくされました。

しかし、１７歳でインターネットビジネスと出会い、高校を中退。

起業１年目にして年商１億円を達成し、その後も、主婦、サラリーマン、大学生、ニート、ホスト、大学教授など、一見ビジネスでの成功とは無縁に思えるクライアントを次々と成功へと導いていました。

でも、本当は彼のプロフィールなんて僕にとってはどうでもよくて、パッキパキの七三分けで、スーツがビシっ！のような真面目な先生というスタイルではなく、

「漫画からビジネスに必要なことは全て学んだ。
ビジネス書どころか本なんて１冊も読んだことがない。
むしろ活字が読めない」

という彼の飾らないスタイルが、学校や先生が苦手だった僕にはとても心地良かったと同時に、彼の存在そのものが真面目な優等生じゃなくてもビジネスなら成功できるんだという強い希望のように感じられました。

そして、

あの出会いから５年。

この５年のうちに彼の手で数千万円規模のビジネスが生まれていく場面を、僕は何度も目撃してきました。

ちなみに、２０１３年の９月１０日に募集を終了した「物語プロジェクト」という企画もそうです。

２０１３年5月２２日。

大輔さんに誘われて、サカナクションのライブに行きました。

が、始まって１０分も経たないうちに

「やばい。帰りたくなってきた」

との謎の発言があり、それも聞こえないフリをしていると、３０分後には彼は爆睡していました。

あまりにもキモチ良さそうな寝顔だったため話しかけることもできず、一夜明け、昨日のあれは何事だったのですかと質問したところ、

「ライブ開始直後にいきなりビジネスアイディアが降ってきたから、
忘れちゃいけないと思って、とりあえず

寝た。」

という答えが返ってきました。

言ってることの意味はよくわかりませんでしたが、あまりに曇りのない瞳で断言されたので、そういうことかと僕は納得したフリをしました。

そして、ライブ中に閃いたというビジネスアイディアの全貌を、企画書として落とし込みながらその場で、大輔さんは僕に説明してくれたのです。

それが「物語プロジェクト」誕生の瞬間でした。

結果、３ヶ月後には「物語プロジェクト」は１０００万円を余裕で越える規模の一大プロジェクトになっていました。

毎日１０時間以上寝ている和佐大輔がコンスタントに１億円を稼ぎ続けるため使っている秘密のテクニック

縁あって大輔さんにビジネスを教わるようになってから、最初の半年間、僕は必死に「和佐大輔の秘密」を探っていました。

というのも、１７歳から８年間も年間１億円以上のお金を稼ぎ続けている男なのだから、きっとアメリカ直輸入の最新のテクニックを常に勉強していたり、一般には出回っていないような特別な情報源を持っているに違いないと睨んでいたのです。

しかし、

それにしては全然ギラギラしてないな、と違和感は抱いていたのですが、一緒に仕事をさせてもらうようになって、その疑いは確信に変わりました。

和佐大輔は、特別なことは何もやっていない。

自分の商品をセールスする際に使っているテクニックなんて、彼が木坂健宣さんと共同で販売している「ネットビジネス大百科」の中で話しているものくらいで、特別な能力や才能を必要とするような難しいことは何ひとつやっていなかったのです。

それどころか、ビジネスを勉強するための時間なんて彼の生活の中には１秒もなく、基本はマンガと映画を中心にして、ゲーム、お笑い番組、旅行と、とにかくずっと遊んでいる印象しか僕にはありません。

それまで自分の生活費くらいは自力で稼げるようになりたいと、必死になって書籍を読み漁り、なんとなく偉くなった気になって調子に乗っていた僕にとって、この事実は驚きでした。

経験とか知識とかそーゆーのは
関係ないんで、起業したいならさっさと
会社を辞めて、今すぐやればいいと思います。

努力しても、勉強しても、小遣い稼ぎ程度の結果しか出せない僕。

それにひきかえ大輔さんは、毎日マンガと映画を見てるだけなのに、なぜあんなに次々に新しいアイディアを生み出し、ケタ違いの金額を何度も稼ぐことができるのだろう。

経験の差なのか、それとも僕には才能が全くないからなのか、先の見えない不安と、一刻も早く会社を辞めたいという不満が相まって、この５年間で僕が大輔さんに送ったメールの総数を振り返ると５００通を超えていました。

画像ができ・・・ません！	和佐大輔	12/08/04 23:49
Re: 報告２７回目	和佐大輔	12/08/02 22:55
読者からのメール	和佐大輔	12/08/02 19:19
Re: 報告２７回目	和佐大輔	12/08/02 18:14
報告２７回目	和佐大輔	12/07/31 6:28
報告２６回目	和佐大輔	12/07/24 0:36
報告番外編　DOじゃなくて既	和佐大輔	12/07/19 2:03
報告２４回目	和佐大輔	12/07/12 0:20
報告２３回目	和佐大輔	12/07/09 3:26
報告２２回目	和佐大輔	12/07/08 3:56
報告２１日目	和佐大輔	12/06/23 3:25
報告２０日目	和佐大輔	12/06/19 2:33
報告１９回目	和佐大輔	12/06/16 2:41
報告１８回目	和佐大輔	12/06/13 2:23
報告１７回目	和佐大輔	12/06/01 3:14
報告１６回目	和佐大輔	12/05/27 1:18
報告１５回目	和佐大輔	12/05/24 2:12
カルマ	和佐大輔	12/05/23 17:07
報告１４日目	和佐大輔	12/05/19 2:28
Re: 報告１２日目	和佐大輔	12/05/16 19:02
Re: 報告１２日目	和佐大輔	12/05/16 11:39
Re: 報告１２日目	和佐大輔	12/05/13 2:05
報告１３日目	和佐大輔	12/05/10 5:25
報告１２日目	和佐大輔	12/05/08 1:35
報告１１日目	和佐大輔	12/05/05 2:45
facebookメルマガフォームの件	和佐大輔	12/05/04 15:05
facebookページ設定完了！！！！！	和佐大輔	12/05/04 14:55
Re: 報告１０日目	和佐大輔	12/05/04 11:51
Re: 報告１０日目	和佐大輔	12/05/04 11:25
報告１０日目	和佐大輔	12/05/01 3:51
報告９日目	和佐大輔	12/04/29 3:44
報告８日目	和佐大輔	12/04/27 3:29
報告７日目	和佐大輔	12/04/25 2:27
報告六日目	和佐大輔	12/04/24 3:37
報告五日目	和佐大輔	12/04/21 2:38
報告四日目	和佐大輔	12/04/20 1:28

（これらは僕から大輔さんに送信したメールのごく一部です）

結局、この５年間で大輔さんは僕に「この業界が盛り上がっているから、今のうちに参入しておけば稼げるよ」といった、稼ぎ方は一度も教えてくれませんでした。（そもそもそのような情報に、大輔さん自身が興味なさそうでした）

そんなことよりも、この５年間ひたすら言われ続けたことは、

「関係ないから、さっさとやれ」

ということだけ。

僕：彼女が出来ました！　→　和：そうですか。
関係ないんでやることやってください。

僕：フラれました！　→　和：そうですか。
関係ないんでやることやってください。

僕：母が倒れました！　→　和：そうですか・・・
まあ、やるしかないですね。

もちろん全て実話です。

そして、ある日こんなことを言われたのです。

「今と同じ毎日があと５年続いたら、
三浦さんは成功しているんですか？」

そのころ何をやっても中途半端で結果がまるでついてこず、負け癖がついていた僕の胸に、この言葉は容赦なく突き刺ささりました。

今の自分の延長線上に成功は、無い。

そして顔を上げてみると、大輔さんのやさしい瞳の奥から

「お前の変化を邪魔するものは全て無視しろ。
だって、成功したいんだろ？
昨日までと同じことやってるくせに
未来を変えられるほど現実は甘くないよ。
人生、舐めてんの？」

という心の声が聞こえてくるではありませんか。

その日から僕は、どんなに意味不明なことや、自分に合わないと思っていたことでも、大輔さんにされた無茶ぶりはとりあえず一旦飲んで、トコトンまでやってみることにしました。

どうせ今の人生の延長線上に成功は見えない。

だったら、昨日までの自分が絶対しなかったようなことを、やった方が人生おもしろくなるかもしれない。ええい！ヤケクソだ。

最初は、そんな気持ちでした。

しかし、その日を境に大輔さんの無茶ぶりは、僕の予想を遥かに裏切る勢いでエスカレートしていったのです。

・次に三浦さんが販売する商品がヒットしなかったら、罰として１ヶ月間歌舞伎町でホストをやってください

・じゃんけんで負けたら、今夜行く全ての店をおごってください（推定４０万円）

・とりあえず会場と日にちは決めたので、来月の１７日に１００人の前でセミナーやってください

このように、地元でひっそりとビジネスの勉強をしているだけなら絶対に抱くことのなかったおぞましいほどの緊張感を、大輔さんは容赦なく僕に味あわせてくれました。

もちろん大輔さんの無茶ぶりは具体的なビジネスの内容に関してもとどまることを知らず、おかげで当時はサラリーマンだった僕の平均睡眠時間は３時間～４時間にまで削られ、毎日会社では完全におかしなテンションで過ごすことになってしまいましたが、それも仕方がありません。

だって僕が弱ってくると、大輔さんが笑顔で必ずこう言うのです。

「別にやらなくてもいいですよ。
だけど、成功したいんですよね？」

ああなんて憎たらしい奴なんだろうかと、何度も心のなかで僕が呪いの言葉を吐いていたことは内緒です。

しかしそれでも、悔しさだけをモチベーションに食らいついているうちに、僕が囚われていたちっぽけなプライドや羞恥心は徐々に剥がれ落ちていき、今までできなかったことが徐々にできるようになっていきました。

不思議なもので、その瞬間には全く意味不明だった大輔さんの無茶ぶりが、後になって腑に落ちるようになってくる回数が段々と増えてきたのです。

そして、気づいた時にはサラリーマンのころには想像すらしていなかった世界が、僕の目の前には広がっていました。

今では毎日ぐっすり眠る時間をとれていますし、労働時間という意味でもサラリーマン時代の半分～３分の１しか働いていません。

時間に拘束されることも、望まない人間関係に付き合わされることも、一切なくなり、会社を辞めて１ヶ月後に僕の月収はサラリーマン時代の７倍になっていたのです。

いつまでも学生気分で仕事してんじゃねえよ！

と、志村けんによく似たサラリーマン時代の上司は、たいへん力強く教えてくれましたが、サラリーマンを辞め、自分で会社を立ち上げて気づいたことは、**遊び心のない仕事なんて人間のやることじゃない**ということです。

どう考えても好きなことをノリノリでやっているときよりも、嫌いなことを嫌々やっている時の方が人間のパフォーマンスが上がるとは、僕には思えません。（好きなことをやっている時の方が人間は高いパフォーマンスを発揮するというのは、脳科学的にも既に証明されている事実です）

会社を辞めて１ヶ月後に僕の収入が７倍になったのは、偶然ではなく必然でした。

僕たちは人間ですから、人間という生物のパフォーマンスを最大限に発揮し成功を手にするには、具体的にどんな思考をし、どんな行動をすべきなのかをきちんと学び、冷静な判断を下さなければなりません。

感情や場の空気に支配された奴隷として過ごすには、人生はあまりに長過ぎるし、あまりに退屈過ぎます。

そもそも「professional（プロフェッショナル）」という単語の語源は「自らの信仰を告白する」からきています。

どんな理由があるにせよ、嫌々やっている仕事を、あなたは人前で堂々と告白できますか？

さあ見てくれ！これが俺の人生だ！！と、胸を張って言えますか？

そして、

今の職場であと５年頑張れば、その頃にはあなたの望む成功は、実現できていると思いますか？

昨日までの自分の延長線上で、
風呂入ってメシ食って寝てるだけじゃ
死ぬまで成功には辿りつけない

ここまでこの手紙を読んでくれているのなら、もはや言うまでもないと思いますが、多くの人が成功できない本当の原因は、修行が足りないからではありません。

むしろ辛く苦しい修行を何年もしないと成功できないという間違った常識の方がよほど有害です。

成功とは、地道な努力によってステップ・バイ・ステップで成し遂げるものではなく、むしろ感覚として近いのは**「ワープ」**であり、**「次元の移動」**です。

「ワープ」なんて言葉を使うと、楽して成功できると勘違いする人が多いのでそこだけはハッキリさせておきたいのですが、決して寝ながらコピペしてるだけで誰でも成功できる的な平成のおとぎ話をしているわけではせん。

成功するために本当に必要なものは、コツコツと何年間も「修行」することではなく、僕が大輔さんに頭のおかしい無茶ぶりをされ続けたように、短期間のうちに今までの人生では体験したことがないような「非日常」にチャレンジし続けることです。

「チャレンジしないこと」は「失敗」することよりも遥かに危険だという話はもう聞き飽きているかもしれませんが、これだけは忘れないでください。

どんなにつらくても失敗は現実です。

そのときは傷つくかもしれないし、誰かを怒らせてしまうかもしれない。

だけど、チャレンジしない理由なんて、「失敗したらこんな悲劇が待ってるはず」という空想上の恐怖でしかありません。

結局、目の前にある世界を変える力を持っているのは、１００の空想よりも１の現実の行動なのです。

だけど、こんな正論を今更申し上げたところで、

そんなこと言われなくてもわかってるし。
自分なりに頑張ってるのに、
うまくいかないから困ってるんじゃん。

そんな声が聞こえてきそうです。

僕自身、２００６年にインターネットビジネスと出会ってから５年間は、自分なりに頑張って勉強してるつもりなのに一向に結果が伴わなわず、悶々とした停滞感の中で変わらない現実を呪いながら過ごしていました。

知識が足りないのか？

それとも、まだまだ自分の努力が足りないのか？

そうやって、あのころの僕はいつまでも勉強と練習と準備に明け暮れ、チャレンジを先延ばしにしていたのです。

でも、あなたはもう気づいていますよね？

いくら練習や準備に力を注いだところで、ビジネスで結果なんて出ないってことに。

だから今日、ここで、あなたも肚を決めてください。

楽を求めて生きるのか？

快楽を求めて生きるのか？

昨日までの延長線上にある無難で「楽」な毎日を求めて生きるのか？

それとも、失敗の恐怖を乗り越えてチャレンジを繰り返し、自分が本当に望む「快楽」を満たしてくれる毎日を求めて生きるのか？

どちらが正しいということはありませんし、人には向き不向きがあります。

あなたが、「楽」な人生を選ぶというのなら、今の日本はまさに理想的な環境が整っていますから、何の問題もなくこれからも平和な毎日を過ごすことが可能でしょう。

ただし、もしあなたがわずかでも迷っているのなら、決して「楽」ではありませんが、確実にあなたの望む「快楽」を実現させる方法をお伝えしようと思うので、もう少しだけ僕の話に付き合ってください。**（少なくとも月収５０万円～１００万円程度のビジネスなら、今日から１年以内に誰でもゼロからつくりあげることができる方法です）**

インターネットビジネスと出会ってから７年、今では大輔さんといくつかのプロジェクトを共同で行えるようになりましたが、そのあいだ僕にはずっと疑問に思っていたことがありました。

なぜ、多くの人のモチベーションはすぐに枯れてしまうのか？

という疑問です。

インターネットビジネスにかかる金銭的な負担なんて、せいぜい多くても数万円ですから、ぶっちゃけ本気でやれば高校生でも成功できる可能性があります。

実際、大輔さんは１７歳のときに１億円を稼いでいますし。

だけど、僕が知る限り、インターネットビジネスで成功してやるという野望を持ってこの世界に殴りこみに来たはずの人たちが、結局背中を丸めて去っていく原因ランキング、不動の１位はホリエモンが登場するよりも前からずっと

「モチベーションが続かない」

なのです。

最近では「自分には、まだ覚悟が足りません」という声をよく聞きますが、言ってることは同じですよね。

やる気が出ない。やったとしても本気になれない。

なぜ、誰かに強制されたわけでもなく、自分がやりたくて始めたことのはずなのに、そうなってしまうのか？

僕はてっきり「希望」が足りないからだと思っていました。

「インターネットビジネスならオレ（私）でも稼げる」という希望が。

しかし、それは間違っていたのです。

モチベーションが続かない、覚悟が決まらないと悩んでいる多くの人に決定的に足りなかったもの、それは「希望」ではなく「絶望」だったのです。

この世の中にある全ての物事には「反動」があります。

つまり、モチベーションが上がらないとか覚悟が決まらないといった問題で躓いてしまう人たちには共通して、「楽」な日常を放棄してまでビジネスに没頭しなければならないほどの強烈な理由がなかった。

彼らには、今と同じ生活が来年も再来年も、この先ずっと続いていくことに対する「絶望」が、決定的に足りなかったのです。

そして、何よりインターネットビジネスの知識はそこそこあるはずなのに、５年間もダラダラとくすぶっていたころの僕が、まさにそうでした。

あなたはどうですか？

悟空がスーパーサイヤ人になるには、クリリンが殺されるという絶望が必要だったように。

普通のサラリーマンだった僕が平均睡眠時間が３時間を切ろうともインターネットビジネスに全力を捧ぐと決意できるまでに、**３０歳・月収１３万円・貯金０円という絶望**が必要だったように。

ダイエットでも、恋愛でも、スポーツでも、人間という生き物が今いる「楽」な場所を捨てて次のステージに行くには、「絶望」は欠かすことのできない要素なのです。

それなのに元いじめられっ子みたいな顔した根性なさそうな奴等が、なにやら必死こいて売っている「◯◯するだけで□□億円が簡単に稼げます！」的な塾やマニュアルによってインスタントな希望が量産されているのが現実です。

そこで僕は、大輔さんにある提案をしました。

「“お金源泉シリーズ”で、お金に対する間違った常識をぶっ壊したように、多くの人の成功を妨げている生ぬるい希望を一つ残らず、徹底的に、ぶっ壊しませんか？」

（「お金源泉シリーズ」とは、２０１２年と２０１３年にそれぞれ和佐大輔が企画し、合計で３万人以上の参加者が集まった、お金の本質を学ぶための無料通信講座です）

さすがに大輔さんも驚いていました。

１０月１０日には出版デビューも果たし、テレビやラジオなどメディアの取材でスケジュールがパンパンになっているこのタイミングで、新しい企画を始める…だと、と。

しかし、僕がどれだけこの企画に対して本気であるか、いかに多くの人が常識という檻に閉じ込められて自分に対する期待を失ったままの人生を送っているのか、そして、誰よりも深い「絶望」を味わった経験のある和佐大輔だからこそ、今、このタイミングで言えることがあるはずだ。

とまあ、この時ばかりは僕も大輔さんの前で思わずヒートアップしてしまいましたが、この話をひと通り聞き終わったあと、ようやく大輔さんは首を縦に振ってくれました。

そして、そのとき大輔さんから、こんなメッセージをもらいました。

どうも、和佐です。

もしあなたが、僕たちを信じて着いて来てくれるのなら、これから先の１年間はおそらく一生忘れることのできない貴重な時間になることでしょう。

具体的には、アーティストライブに行ったり、毎週ジャンプを読んでいるだけなのに、どうして僕が毎年毎年、億を動かすビジネスアイディアを閃き、それを短期間で企画・実行しているのか、その秘密をこれから１年間かけて全てお話します。

別に閃きのきっかけは何でもいいのです。

テレビのお笑い番組を見ていても閃くし、友達の結婚式の最中にもお構いなしで僕は閃きます（笑）。

要は、目の前にある１の情報を見て、どこまで多くの可能性を想像ができるのか、という話ですから。

多くの人は１の情報を見て、「あ、１だ」で終わってしまいます。

しかし、新しい価値を生み出し、オリジナルで勝負する力を持った本当の実力者たちは１を見た瞬間に１万くらいの可能性を感じ取っているのです。

誰も知らないことや、最新の情報を知ることが勝負をわけるのではなく、みんなが知っている情報の中でいかに遊べるか、いかにそこにある可能性に気づけるかが最終的にはビジネスの勝敗をわけます。

舞妓さんとお座敷遊びをしている最中に、秋元康がAKB48を閃いたという話は一部のマニアの間では有名です。

そこで、これから１年間をかけてあなたにも「１を見て１万のアイディアを閃く技術」をお伝えしてきます。

脳みそは非常に環境に従順ですから、多くの人の脳みそは１を見て
１しか発想できない、１以外のことは発想してはいけないんだと、

幼い頃から知らず知らずのうちに刷り込まれています。

だから、１回死んでこい…っていうか、むしろ僕が**殺**します。

あなたが本来は持っていたはずの自由な発想を封印し、あなたのモチベーションを下げ、あなたの努力の効率を著しく低下させている２４個の悪しき常識を、これから１年間をかけて完膚なきまでにぶっ壊します。

こんなに簡単に、こんなに多くのお金が、こんなに短期間でかせげちゃいました♪的な、インターネットのコピーライティングを鵜呑みにして、多くの人がこの業界参入し、カモにされて去っていくのを僕は何度も見てきました。

いい加減もう目を覚ましましょう。

そんなインスタントな希望なんて、僕が１年間をかけてたっぷりと打ち砕いてあげますから（笑）。

僕の人生は事故で首の骨が折れたときから、大きく動き出しました。

物語のスタートはいつも絶望からです。

さすがにあなたの首の骨を折ってあげることは僕にはできませんが、首の骨が折れるくらいの絶望と、これまで自分が囚われていた常識が、ガラガラと崩れていくカタルシスを味わってもらうことならできます。

そして、１年後にはあなたの脳も僕と同じように、１を見て１万のアイディアを閃く脳へと進化していることを約束します。

大丈夫。

何をやっても中途半端で５年間もくすぶり続けていた“あの三浦さん”ですら月収が３００万円を超えたり、合計３万人近くのお客さんから支持されるなど、具体的な結果を出せるようになった方法をあなたには疑似体験してもらいます。

もう二度とお金のことで悩まない人生を実現させるくらいなら、１年間もあれば十分に達成可能です。

さすがに２４回も殺されたら、もう別人ですから（笑）。

AKBやももクロだってデビュー前とデビュー後では、全く別人ですよね（彼女達は「アンチ」や「世間」に何度も殺され、その度に復活してきたのです）。

ガチでクラスで３番目の女子がテレビに出てても痛いだけですが、クラスの３番目だけどアイドルになりたい！という深い絶望からスタートした彼女たちの物語がどうなっていくのか、そこに僕たちは惹きつけられるのです。

なんだかんだで長くなってしまいましたが、要するに僕が言いたいのは、インターネットを使えば、誰にも平等に普通じゃない結果を出せる可能性はあるということです。

くだらない常識に去勢されて、こんなもんかと諦めてしまう前に、一旦すべての常識を取っ払って、本物の自分の実力を試してみませんか？

僕たちを信じて着いて来てくれるのなら、最高に濃い１年間をあなたに約束します。」

和佐大輔

ようこそ、
非日常の入り口へ

２４の衝撃

～ 脳ミソに衝撃を。魂に衝動を ～

「２４の衝撃」それが今回の企画のタイトルです。

あなたがこれまでの人生で、親や学校の先生、それに会社の上司から当たり前だと教えられてきた常識を徹底的にぶち壊し、この世の中の真の姿をお見せします。

常識というのは、要するに「これはこういうものだから問答無用で守りなさい。いいね？」と、脳みそを思考停止させるためのスイッチのことです。
（そのお陰で僕たちは、そのつどいちいち考えなくてもいいという恩恵も受けているのですが）

そして、「メンタルブロック」と呼ばれる人間の可能性を制限するリミッターのほとんどは、常識の中で暮らすうちにいつまにか潜在意識に刷り込まれ、常識の外側に出ようとするとき、突然発動するのです。

ですから、これからお話する「２４の衝撃」ではその中でも特に、人間の可能性を制限し、成功を拒むメンタルブロックを作り出している常識に狙いを絞って、完膚なきまでに破壊し尽くします。

あまりの生々しさに思わず目を背けたくなるかもしれませんが、あなたが常識だと思っていることがどれだけ狂っているのか、そして、あなたの人生をどれだけ制限しているのかをざっと紹介するとこんな感じになります。

具体的に、あなたの可能性を制限している狂った常識とは？

モチベーションと覚悟

・モチベーション貧乏からの脱出（年齢も経験も関係なく、守るべきものすら何も無い中学生だとしても、ある条件さえ満たすことが出来ればブレない覚悟を自分の中に宿すことが可能です。死にかけるほどの苦行など行わなくても、抑えるべきポイントさえわかっていればレストランのメニューを決めるくらいの気軽さで、誰でも覚悟を決めることができるのです）

仕事と結果

・ 最小の力で最大の結果を出す（就職や修行すらしなくても何かのプロとしてお金を稼ぐ方法はいくらでもあります。一見、不真面目だと見せかけて、圧倒的なその道のプロになれる最短ルートをの見つけ方を教えます）

・結果が出ないときにチェックすべき５つの視点（結果が出る理由は様々ですが、結果が出ない時ほとんどの人は見えない負けパターンにハマっていま

す。この自覚症状の無い負けパターンに自分がハマっていないかチェックするために欠かせない５つの視点をお話しします）

仲間とアイデンティティ

・仲間をどう利用すべきか？（「利用」なんて言葉を使うと人聞きが悪いと思われるかもしれませんが、なぜ和佐大輔は、小学生以下の学力と、幼稚園生未満の運動神経しか持たない三浦洋之をビジネスパートナーに選んだのか？綺麗事抜きの和佐大輔の本音と、仲間選びで一番大切なことをここで初めてお話します）

学校と経済

・学校は教育機関ではない？（学校というビジネスモデルの本当の商品は資格でも就職率でもなく物語です。最近ではモード学園が新宿に自社ビルを建てたことで話題になりましたが、それほどまでに多くの人々を魅了する物語とは？この物語さえ使いこなせるようになれば、形の無いものですら容易く高額で売れるようになるでしょう）

自信と他人

・自信と過信と不信（なぜ、僕たちはお金という紙切れの価値は信用しきっているくせに、自分という存在の価値を信じきることが上手にできないのでしょうか？結果や経験に関係なく、ましてや精神論でもなく「いま、ここ」にいる自分をシステマチックに信じきる方法をお話します）

才能と時代

・未来予想と現状把握（未来予想と聞くと多くの人は１０年後の世界などを想像すると思いますが、その手の話ではありません。シンプルに自分の人生がこの先どうなるのかを、自分で占う方法をお話しします。超能力が無くても高い確率で予言を的中させることは可能なのです）

・本能ルネッサンス（「時勢が人をつくる」と幕末のキープレイヤーの１人、勝海舟は言っています。つまり人の才能が花開くには一定の条件が必要であり、その条件がより多く満たされた時代には後世に名を残すような人物が多く排出されると。では、人の才能が花開く条件とは何だと思いますか？誰でも一定の手続きを行えば実現できる才能開花の方法を、お話しします）

対話と報酬

・コミュニケーションの本質（広い意味でコミュニケーション能力の高さとは、精神年齢の高さのことです。コミュニケーション・精神年齢といった目に見えず、数字でも測れない能力を見える化し、日々上げていくにはどうすればいいのかをお話しします）

・なぜ、人見知りは得なのか？（KYという言葉が昔流行りましたが、人見知りはその逆です。空気が読めすぎてしまうから、身動きがとれなくなってしまう。では、その空気を読む力を逆手に取って、自らの意志で場の空気を支配できるようになったとしたら？多くのカリスマは人見知りの中から誕生しているのです）

言葉と創造

・言葉の研ぎすませ方（「婚活」と言うのと「結婚活動」と言うのでは、意味は同じでも頭のなかに浮かぶイメージがまるで違うように、意味だけでなく、音や見た目にも言葉はパワーを宿しています。ということは同じ内容を伝えるにしても言葉の選び方を変えるだけで、相手のリアクションが圧倒的

に変わるのですが、安っぽいコピーライティングは勉強していても、そのことに気づいている人はまだ少ないようなので、ここできちんと解説します）

銀行と欲望

・銀行と保険と金融（世界大３位の経済大国に生まれたにしては、日本人はお金の動きに鈍感過ぎます。なぜ、人類は何度も大恐慌を経験しているのに、リーマンショックの様な不況を巻き起こす事件が起きてしまうのか？景気の波と人間の欲望の意外な繋がりとは？）

借金と貯金

・ハイリターン過ぎて笑えてくるお金の使い方（ぶっちゃけ、成功できない多くの人はお金の使い方がヘタクソ過ぎます。お金は「力」です。てこの原理のように正しいところに正しいタイミングでお金を使えば、その力を何倍にも増やすことができるのです）

アイドルとオリジナリティ

・ウケるオリジナルのつくり方（オリジナリティさえあれば売れる商品がつくれるのかというと、そうではありません。松本人志監督の映画はオリジナリティの塊ですが、あまり評価は高くありませんよね。お客さんの見たいものを見せてあげつつ、オリジナルでもある。そんな商品や企画を生み出すために、必ずやるべきことと絶対にやってはいけないことをお話しします）

インターネットと敵

・敵の上手なつくり方（仮想敵をつくり、奴等を倒すべく立ち上がりましたというストーリーで商品のセールスをしている人をよく見かけますが、そのほとんどはぶっちゃけどーでもいい話です。客観的に見るとどーでもいい個人的な敵ではなく、お客さんをも巻き込んで「お願いだからあいつらを倒して！」と懇願されるほど強力な、共通の敵をつくる方法を明かします）

家族とスピリチュアル

・家族の常識を壊す（もしもあなたが理想とする人物像が、あなたの両親とはかけ離れているのなら、親から教わったことを徹底的に捨ててください。僕たちは両親のお陰でここに生を授かり、大人になることができました。しかし、「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、幼いころの教育が人生に及ぼす影響は甚大です。両親から受け取った沢山の幸せの影に潜んでいる負のホメオスタシスを浄化する方法をお話します）

人間と名前

・人間観察のコツ（ビジネスで成功するためにはリサーチが大事だと大昔から語り継がれていますが、リサーチの意味を理解し、まともに実践できている人は一見成功している様に見える人のなかでも稀です。そもそも普段から意識して道行く人々の顔を見ていれば改めてリサーチなど行わなくても、何をすればウケるのかなんて、手に取るようにわかるはずなのですが…）

感情と宗教

・感情の殺し方・生かし方（なぜ、和佐大輔は首の骨が折れても、心は折れなかったのか？それは感情を乗りこなす術を知っていたからです。実は感情というものには善悪の区別が無く、ただのエネルギーの塊に過ぎません。そこにどんな意味をつけるのか、そしてどう乗りこなすのかで、その人の持つ個性が浮き彫りになるのです。さらに意識できる行動のみならず、体温や涙

といった意思ではコントロールできない生理現象にまで感情は影響を及ぼします。そんな恐ろしいエネルギーを持つ感情に支配されることなく、自由自在に乗りこなす方法をお話します）

洗脳と教育

・問いの立て方（時間と労力さえかければ必ずしも結果がついてくるかというとそうでもなく、意外と早い段階で壁にぶち当たります。時間よりも、労力よりも、圧倒的にパフォーマンスを左右するのはそこにある前提を少年のようなキラキラした目で心の底から“疑う力”です。なぜ、善良な市民よりも、したたかな悪人の方がお金に愛されるのか？結果に直結する疑い方・問いの立て方を小さな声でお話します）

恥と命

・恥と快感（何に恥を感じ、何に快感と覚えるかによって人の行動は変わります。では、自分の感じる恥と快感を意図的にコントロールすることができるとしたら…？和佐大輔が事故後、ひょんなきっけかで気づいてしまったその禁断の手法をお話します）

運とストレス

・運の正体（誰に教わったの知りませんが、なぜか多くの人は運を、生まれたもった変えることのできないものだと勘違いしてるようです。しかし、運は自分でコントロールすることもできるし、レベルアップさせることもできるのです。その具体的な方法を小学４年生にもわかりやすく解説致します）

男と女

・男のロマンと女の不満（ロマンの無い男はインポテンツだと僕は思っています。何のためについているのか、と。草食系を名乗り、冒険をしない人生を送りたいのなら、いっそのこと切り落としてしまえばいい。その方が色んな意味で社会も保護してくれることでしょう。というわけで、そんな人生クソ食らえだというあなたのために、男という生物の本能を目覚めさせ、パフォーマンスを最大化させる生活をについてお話します。寝なくても平気で高い集中力を保ち続けられるな男たちは、たまたまそういう体質なのではなく、意図的にあることに気をつけて生活しているのです。あなたが女性の場合はパートナーに教えてあげてください）

老後と神

・和佐大輔の老後計画（昔、大輔さんは僕にこんな話をしてくれました。「老後は牧場をやる」と。しかし、そのとき彼が語った牧場とは従来のそれではなく、まだ誰も成し遂げたことのない“人間牧場”だったのです…）

・神様の需要（人はなぜ神を崇めるのか？刀やちょんまげは時代の変化と共に無くなってしまいましたが、なぜ、神社や寺、神様仏様に手を合わせるという習慣だけは時代の淘汰に耐えることができたのでしょうか。実用性がないという意味では、無神論者で溢れる今の日本に神様の需要があるとは思えないのに、神様だけがが時代に淘汰されなかったカラクリを解説します）

信者と歴史

・歴史から学ぶな（世界史や日本史の教科書で僕たちは歴史を習ってきました。しかし、あれは真実だったのでしょうか？古来より歴史は勝者に都合よく塗り替えられるものと相場が決まっています。勝者にとって都合の良い情報だけを受け取ったところで本物の知恵を手に入れることはできません。そして、それはテレビなどのメディアを通じて、僕たちが受け取っている情報にも同じことが言えます。誰かにとって都合の良い情報ではなく、フラット

に事実を見つめるためには、情報とどう付き合っていくべきなのか、お話しします）

愛と時間

・気持ち悪くない愛の話（愛とはなんでしょうか？この手の話をすると俄然胡散臭さが高まり、ビジネスとは関係のない方向へ話がそれてしまうビジネス系のセミナー講師の方をよく見かけます。しかし、ここでは感情論や綺麗事ではなく事実としてビジネスに愛は必要なのかというクレバーな話をします。）

○と×

・答えの見つけ方（自分の外に答えを探すという行為は愚かです。なぜなら他人に与えられた答えは、あなたにとって本当の答えではないから。だから自分の答えは自分で探すしか無い。それが出来ない者は“情弱”だ、と切り捨てるのは簡単です。しかし、そうは言っても人は自分のことほど客観的に見れないもの。いつも三日坊主で終わってしまう。何をやってもしっくりこなくて本気を出せない。あなたがこのような問題に二度と悩まされることが無いように、自分のステージにふさわしいの答えの見つけ方を解説します）

ありがとうとさようなら

・ｑあｗせｄｒｆｔｇｙふじこｌｐ（秘密です）

これ以上書くとあまりに長くなってしまうので、このへんにしておこうと思いますが、今思いつく間違った常識をざっと並べただけでもこれだけ出てくるのです。

なぜ、あなたの生活が１年前とあまり変化していないのか、その理由がわかりますか？

それは、これまで生ぬるい常識に保護されてきたからです。

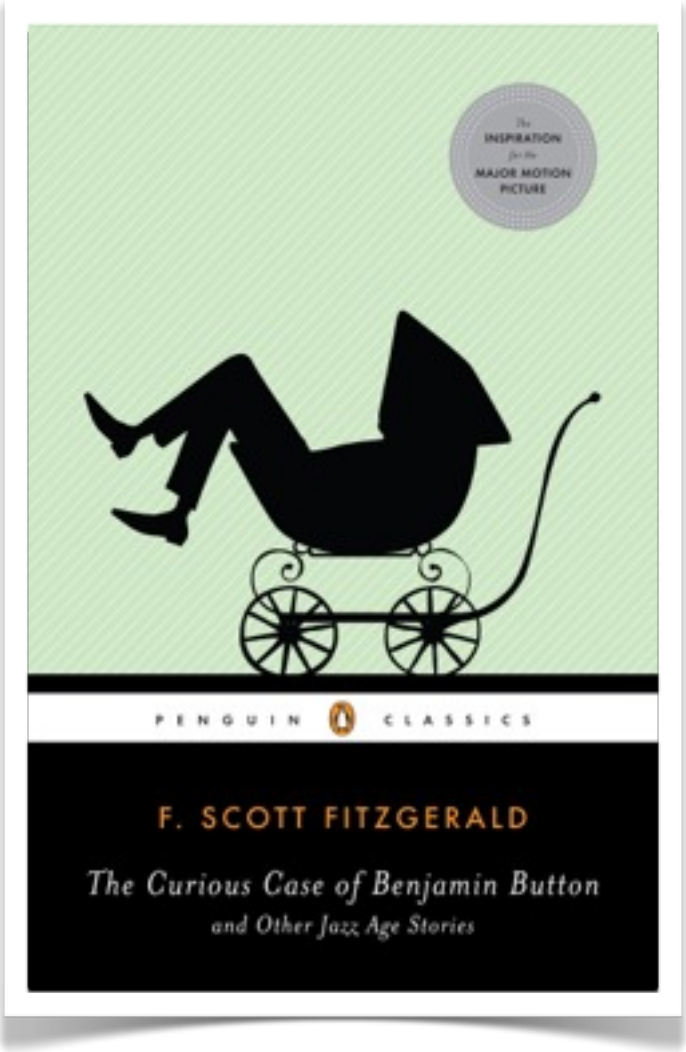
もしも、あなたが本気で変わりたいと願うのなら、あなたの行動を押さえ込んでいる見栄や恥、世間体や他人の目など全てのメンタルブロックがちっぽけなことにしか思えないほどの絶望を、大輔さんと僕の２人で、これから１ヶ月に２回、１年間という時間をかけてたっぷりとお届けますから、楽しみにしていてください。

※予定している内容は変更になる可能性もあります。臨機応変に「最も衝撃的」なテーマで講義しますので、楽しみにしていてください。
※２４の衝撃本編のスタートは１月からとなります。

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

数奇な人生



２００８年に「ベンジャミン・バトン ～数奇な人生～」という映画がヒットしました。

ブラッド・ピットが演じるベンジャミンが８０歳の老人としてこの世に命を授かり、年を取るごとに若返っていくというストーリーの映画でしたが、これからあなたはベンジャミンと同じような不思議な感覚を、１年間を通して味わい続けることになるでしょう。

なぜなら２４の衝撃は、

ライブで参加できる通信講座

だからです。

具体的には１ヶ月に２回、合計すると１年間で２４回、Ustreamの生放送という形で音声または動画でコンテンツを配信し、その場で参加者の疑問や質問にもお答えします。（生で参加できない場合でも、後日音声または動画のデータを送りますので、録音・録画でもお楽しみいただけます）

あなたは毎月何度も、これまで常識だと信じていたものを破壊され続けていくうちに、あたかもベンジャミンのように毎月毎月、自分が若返っていくかのような瑞々しい感覚に襲われることでしょう。

僕自身、大輔さんと出会い５年という時間を共にすることによって、忘れかけていた青春のノリや感性、そして行動力が今では完全に我が身に蘇ってきました。

常識というフィルターが外れたとき、どんな景色が広がっているのか想像できますか？

そこから見える景色を僕の言葉で例えるなら、

１７歳の放課後です。

高校生のころ、学校が終わってからのあの開放感！今日は友だちと何をして遊ぼうかという胸の底から沸き上がるワクワクした感情。あの輝かしい日々が再び蘇るのです。

常識の外側から世界を見ることができるようになれば、ビジネスチャンスなんて「今日の遊び」を決めるくらい自然に、無理なく見つけることができますし、そこからきちんと収益が発生するような仕組みをつくることも、鬼ごっこのルールを決めるくらい普通にできるようになるのです。

そして、

ビジネスに興味のある１７歳の高校生でも無理なく参加出来るようにとの願いをこめて、<u>２４の衝撃の参加費は、月額４２００円</u>とさせていただきました。

４２００円÷３０日＝１４０円

１日１４０円ですから、コーラの５００mlのペットボトルを１年間毎日飲み続ければ、それはそれで人生が劇的に変わりそうな気がしないでもありませんが、そのような謎のチャレンジよりも健康的で刺激的な未来を望まれるのであれば、２４の衝撃に参加してください。

万が一参加して気に入らないという場合は、途中でいつでもやめられますから。

※「２４の衝撃・ベンジャミン」（月額支払コース）の受付開始は１２月になります。現在は受け付けていません。

２０１４年

「２４の衝撃」であなたの人生は劇的に変わってしまうことでしょう。

しかし、２４の衝撃の内容を打ち合わせをしたとき、大輔さんにこんなことを言われました。

「なるほど。内容はこれでいいと思います。

でも、これで終わりですか？」

その瞬間僕は心の中で「出たな！」と思いましたが、さすがに知り合って５年間も経てば、こっちもお見通しです。

さっそく予め用意していたこんな質問をしてみることにしました。

「大輔さんは学歴が良いわけでもないし、ビジネスについて専門の機関で学んだ経験があるわけでもありませんよね。それなのに、なぜ、他の人には思いつかないようなアイディアを、ほぼアドリブで何度も閃くことができるのですか？」

すると大輔さんの口から出てきたのは、耳を疑うようなセリフでした。

「僕のアイディアが外れないのは、才能でも何でもなくて、カラクリは単純です。

・時代の流れを読むこと

・自分の能力や置かれている状況を俯瞰すること

この２つを掛け合わせれば、誰でも気づくような些細な思いつきが、誰にも真似できないビッグアイディアに変異するということをこれまでの経験上知っているので、ただそれをだけを意識して企画を考えているだけです。

いきなりは無理だと思いますが、３ヶ月～半年間かけてこの２つを自分のものにできるようになれば、売上１０００万円くらいのビジネスなら、毎月のように新しいアイディアを思いつくようになりますよ。僕もそうでしたから」

それなら、その２つの能力を鍛えることのできるコンテンツを用意すれば、誰でも大輔さんのようなビッグアイディアを、それぞれのビジネスや環境に応じて臨機応変に閃くことができるようになるということですね？

そう言って僕は大輔さんに詰め寄り、半ば強引にこの２つを脳と体にインストールすることができる教材を作成してもらうという約束を結びました。

こうして、生まれたのがこの２つのコンテンツです。

「覚醒前夜

～激動の２０１４年にブレイクするための絶対条件～」

「イカサマ師の瞳

～客観的に自分の置かれた状況を把握する方法～」

これらのコンテンツの具体的な中身をざっと紹介すると…

・時代の流れを読んで１の力で１００の成果を得る

・格差社会に生まれる新たなチャンス

・根性無しの反撃

・大衆の時代に求められる新しいリーダーシップ

・コンプレックスを克服し武器に変える方法

・２０１４年に待ち受ける劇的な変化とは？

・これから時代に最も必要とされる能力

・勝敗はディディールで決まる

・相手を怒らせずに言いにくことを言う技術

・脳内麻薬のトリセツ

・絶え間なくアイディアが閃き続ける脳ミソの使い方

・熱くなった頭を冷やし、５秒で自分を客観視する４つの視点

などなど、細かく書けば終わりがこないので、このへんにしておきます。

今回は、これら全てを収めた２つのコンテンツも全て無料でお付けします。

これであなたは「時代を読む力」と「客観的に自分を把握する力」の２つを手に入れ、「自分がどのように働きかければ、お金が生まれるのか？」という体感覚を掴むことが出来るでしょう。

知識ではなく「感覚」でお金を稼げるようになれば、あとはもう何も怖いものはありません。

※このプランの申し込み受付は１２月以降になります。

特別な人と、特別な時間を…

ただし、あなたの中で何らかの覚悟が既に決まっているというのなら、毎月４２００円を払い続けるという行為は、ただの手間でしかないと思います。

よって、以下のプランも用意しました。

パラディン

６ヶ月で~~２５２００円~~→１６０００円（消費税＋２ヶ月分割引）一括払いのプランが「パラディン」です。

さらに、「パラディン」に参加される場合は、「ベンジャミン」で受け取ることのできる２つのコンテンツに加えて、さらに以下の２つのコンテンツも含めたあ合計４つのボーナスコンテンツを手に入れることができます。

「帝王学

～もしも和佐大輔が我が子にビジネスを教えるなら～」

（音声・マインドマップ）

このコンテンツは、**「和佐大輔がもしも我が子にビジネスを教えるなら」**という仮定で、どのような順番で、具体的に何を教えていくのかを音声とフローチャートのように見やすいマインドマップにしたものです。

和佐大輔の帝王学に従って思考・行動していけばあなたも和佐大輔に育てられたかのように、自然と独立心が芽生え、まるで日本語を話すのと同じように、自分の力でお金を稼ぐことが当たり前の感覚として身につけることができるでしょう。

「ハード・トランス

～たった１人で観客の心を鷲掴みにする極意～」

こちらは、「スター性」・「タレント性」といった数字で計ることのできないが、確実に存在する「魅力」という能力について、取り上げたコンテンツになっています。

そもそも、魅力とは何か？

人はどのような状況で魅力を感じるのか？

そして、魅力を鍛えるにはどんな手段があるのか？

魅力＝容姿だと勘違いして諦めるのはまだ早いです。

男女関係なく、人を惹きつける魅力とは筋力や学力のように、トレーニングを積めば伸ばすことのできる能力の１つにすぎません。

整形手術を否定はしませんが、安易にメスを入れる前やれることはいくらでもあるということを証明してみせるので楽しみにしておいてください。

※「ハード・トランス」は、１１月３０日までの先行募集限定のボーナスとなっています。１１月３０日以降は配信されませんので、ご注意ください。

ちなみに、このプランの名称になっている「パラディン」とは、選ばれし者だけが手にすることができる、中世ヨーロッパの「聖騎士」の称号のことです。

自分自身と向き合い、過去と決別する覚悟を持った者しかパラディンの称号を手にすることができないという試練の山の伝説にちなんで、このプランの名前を「パラディン」とさせていただきました。

半年後には、あなたも伝説のパラディンのように、勇気とやさしさに満ち溢れ、気高い自制心を持った“本物”として、人々から頼られ、尊敬の眼差しで見つめられる存在となっていることでしょう。

※２４の衝撃本編のスタートは１月からとなります。

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

そして、さらなる極みを求めている人には…

ゲルニカ

１２ヶ月で~~５０４００円~~→３２０００円（消費税＋４ヶ月分割引）一括払いのプランが「ゲルニカ」です。

このプランでは、さきほどお話しした「ベンジャミン」、「パラディン」でお渡しする４つのコンテンツに加えて、さらに以下の２つを合わせた合計６つボーナスコンテンツを差し上げます。

「神は細部に宿る

～和佐大輔のビジネスの裏にある細かすぎてわからないこだわり～」

（音声・動画）

僕が大輔さんと一緒に仕事をさせてもらうようになってから、とても意外だったのは**恐ろしく細かいことにうるさい**ことでした。

ビジネスの知識やテクニック的な部分に関しては当然ですが、それ以前の文字の大きさやフォントであったり、カラーリング、サイトのドメインに至るまで、

誰も見ていないような細かいところまで、和佐大輔の行動には全て意味がある

と実感したのです。

しかし、残念なことにこれまでに発売されているどの教材にも、その部分に触れた内容のものはありませんでした。**（もしかしたら大輔さん自身も、そのことの重要性に気づいていないのかもしれません）**

ですから、今回はこれまでどこにも語ってこなかった和佐大輔の細かすぎてわからないこだわりに対して、徹底的にツッコミ入れ、その１つ１つの意味と哲学を語り尽くしてもらいます。

知識やテクニック以前の細かい部分だけで、ここまでお客さんを興奮させることができるのかと、あなたは自分の目と耳を疑うことになるでしょう。

さらに、こちらも受け取ってください。

「Dの誘惑 ～ハッタリで人を動かす～」

このコンテンツは格闘技で例えるところの「急所攻撃」のようなものです。

ビジネスの勉強を始めると最初に必ず言われるのが、お客さんのニーズ（必要性）を満たす、役に立つものをつくりなさいということです。

しかし、実は何一つお客さんにニーズに響かなくても、しかるべき条件を満たした後セールスを行えば、お客さんは無意識のうちに購買意欲を刺激され、何十万円もするような高額商品ですら迷うこと無く購入してしまうのです。

さらに「パラディン」のボーナスコンテンツである「ハード・トランス」と併用することでその効果は倍増します。

しかし、あまりにも簡単に商品を売れるようになるので、売れた商品の質が悪いと大きなトラブルの原因にもなりかねませんから、取り扱いにはくれぐれも注意してください。

※「Dの誘惑」は、１１月３０日までの先行募集限定のボーナスとなっています。１１月３０日以降は配信されませんので、ご注意ください。

それから、

あえて言うまでも無いかと思いますが「ゲルニカ」とは、かの有名なパブロ・ピカソの名画から拝借させていただきました。

「誰でも子供のときは芸術家であるが、
問題は大人になっても
芸術家でいられるかどうかである」

というピカソの言葉は、僕がこの手紙で２万文字以上の言葉を尽さなければ伝えきれなかったことを、たった一言で表現してくれています。

もしもピカソが生きていたとして、あなたの似顔絵を描いてくれるとしたら、どんな絵が出来上がるか想像できますか？

突然そんな意地悪な質問をされても答えられないと思いますが参考までに、１枚の絵をお見せします。

次のページにある絵は、愛人である『ドラ・マールと猫』をピカソが描いたものです。

この絵からわかることは、ピカソの目に映っていた世界は、僕らが常識の範囲内で眺めている世界とはまったく別のものだったということです。

（そして、この絵はニューヨークの競売で１０８億円で落札されました）

結局、２４の衝撃を通して僕たちが伝えたいことは、常識という制限を取っ払い、果てしなく自由な想像力を持った「ピカソの目」で、あなたにもう一度この世界をじっくり眺めてみてほしいということです。

想像力が創造力の限界を決めるのですから。

毎月２回、１２ヶ月で２４回もの絶望を味わい、ことごとく常識のタガが外れきったあなたが、１年後どんな人物になっているのか、想像してみてください。

ピカソの気持ちが少しはわかるようになるかもしれませんよ。

※２４の衝撃本編のスタートは１月からとなります。

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

そして、

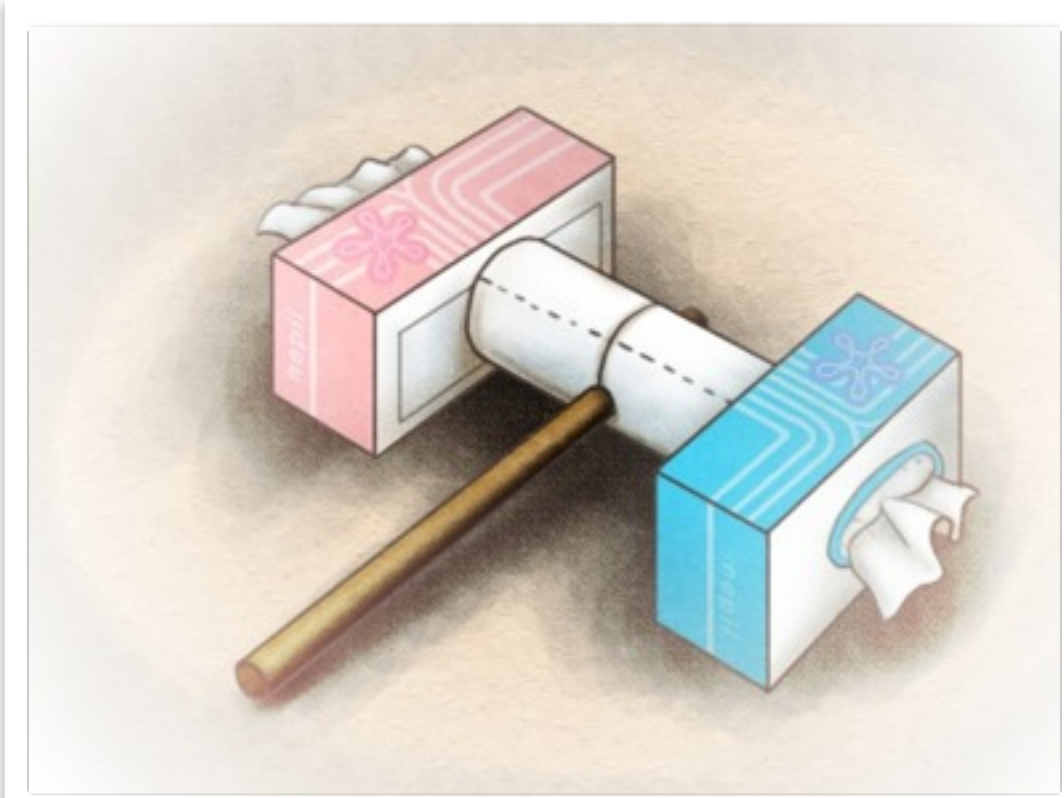
実は、ここからが本番です。

今の日常にはない結果を出したければ、非日常的なことをやれと言っている僕たちが、フツーに商品のセールスをしてたんじゃ説得力がありませんよね。

だからあえて、フツーでは絶対にやらないような狂気のプランも用意しました。

それがこちらです…

パトリオット



この最上級プラン「パトリオット」に参加すると、２４の衝撃の全てのコンテンツ及び全てのボーナスを手に入れることができます。

そして、さらに

究極の非日常を望むあなたを、
とある場所へと連れ去り、
４８時間監禁させていただきます。

具体的には、

・１泊２日で、和佐大輔の日常に同行する（どこに拉致られるかは当日になってのお楽しみ。宿泊費などは僕たちが負担します。開催日程はまだ未定ですが、出来るだけ希望に沿えるようにします）

・完全非公開の和佐大輔のプライベートセミナー３部作「物の見方セミナー」（漫画の読み方、映画の見方、インターネットの見方）

・ミシュラン掲載レストランの料理に舌鼓を打ちながらミーティング

・我々のあいだでは通称「精神と時の部屋」と呼ばれている場所で、深夜の秘密訓練

以上が現段階では決まっていることですが、その他にも２０１４年に行われる新年会、お花見、キャンプ、旅行など、一般での募集せずに、僕たちがごく限られた仲間だけを集めて行っているシークレットイベントへ、特別にご招待します。（シークレットイベントへの参加費は実費となります）

「パトリオット」では、その瞬間に、その場所でしか味わうことのできないイベントを次々と企画していきますので、その中で直接会って寝食を共にしながら１年間かけてあなたの頭だけではなく、体にも常識の外側にある感覚を徹底的に叩き込んでいきます。

ただし、拉致監禁したり、イベントに招待できる人数には限りがありますので、「パトリオット」に**参加できる人数は先着３０名様まで**とし、**参加費は２５万円**とさせていただきます。

募集の締切は１１月３０日まで。

締切をすぎると、もう二度とこの条件での募集は行いませんのでご注意ください。

※物の見方セミナーは２月～６月にかけて神戸で行います。（スケジュールが合わずどうしても参加できない場合は、日を改めて動画をお届けします）

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

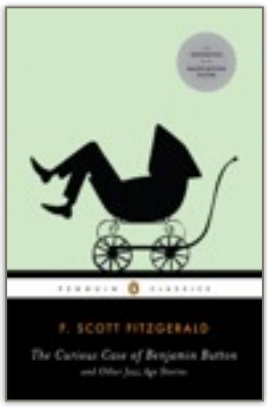
~~先行募集につき、先着１００名限定で~~
~~特別なボーナスも用意しました。~~

先着１００名の枠は、もう埋まりました。

最後に、まとめます。

話したいことが多すぎて、印刷したらコピー用紙を全部集めたら、トイレットペーパー１ロール分くらいの長さになっているような気がしてきました。

なので、こんがらがってしまわないよう最後にあなたが手に入れることのできるものを、わかりやすくまとめてお伝えします。



（プラン：ベンジャミン）

２４の衝撃のカリキュラム

モチベーションと覚悟／仕事と結果／仲間とアイデンティティ／
学校と経済／自信と他人／才能と時代／コミュニケーションと報酬／
言葉と創造／銀行と欲望／借金と貯金／アイドルとオリジナリティ／
インターネットと敵／家族とスピリチュアル／人間と名前／感情と宗教／
洗脳と教育／恥と命／運とストレス／男と女／老後と神／信者と歴史／
愛と時間／〇と×／ありがとうとさようなら

※以上のテーマの中から、それぞれ毎月２回ずつUstreamで生放送予定（予定している内容は変更になる可能性もあります。臨機応変に「最も衝撃的」なテーマで講義しますので、楽しみにしていてください）

※１月から配信スタート

そしてさらに、

特別ボーナス：

- 「覚醒前夜 ～激動の２０１４年にブレイクするための絶対条件～」
- 「イカサマ師の瞳 ～客観的に自分の置かれた状況を把握する方法～」

このコンテンツを加えて、参加費は

入会金０円、月額４，２００円（税込）

※「２４の衝撃・ベンジャミン」（月額支払コース）の受付開始は１２月になります。現在は受け付けていません。

※こちらのお申込方法はクレジット決済のみの受付となります

※このプランの申し込み受付は１２月以降になります。

（プラン：パラディン）

「パラディン」は６ヶ月のまとめ払いとなり、カリキュラム・特別ボーナスの内容は「ベンジャミン」と同じものとなります。

さらに、プレミアムボーナス：

・「帝王学 ～もしも和佐大輔が我が子にビジネスを教えるなら～」
・「ハード・トランス ～たった１人で観客の心を鷲掴みにする極意～」
（※「ハード・トランス」は１１月３０日までに入会した人だけに送られます）

このコンテンツを加えて参加費は

~~２５，２００円~~ → １６，０００円（消費税＋２ヶ月分割引）

※「パラディン」（６ヶ月間まとめ払い）の場合は、消費税が全額と会費が２ヶ月分無料になります※お支払い方法はクレジット払いと銀行振込から選べます

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

（プラン：ゲルニカ）

「ゲルニカ」では「パラディン」で受け取れる全てのコンテンツに加えて、

・「神は細部に宿る ～和佐大輔のビジネスの裏にある細かすぎてわからないこだわり～」
・「Dの誘惑 ～ハッタリで人を動かす～」
（※「Dの誘惑」は１１月３０日までに入会した人だけに送られます）

この２つが手に入るとともに、

「この１年に懸ける」という覚悟（プライスレス）

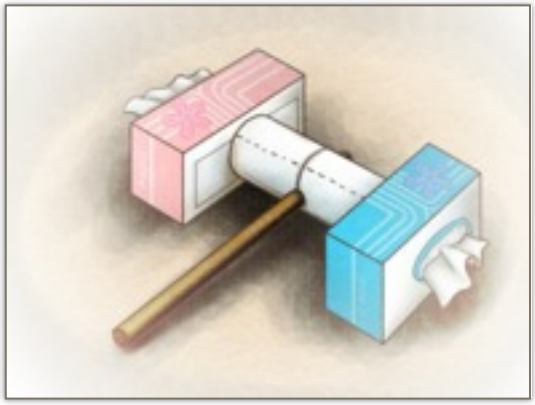
を手に入れることができます。

~~５０，４００円~~ → ３２，０００円（消費税＋４ヶ月分割引）

※「ゲルニカ」（１２ヶ月間まとめ払い）の場合は、消費税が全額と会費が４ヶ月分無料になります※お支払い方法はクレジット払いと銀行振込から選べます

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。



（プラン：パトリオット）

「パトリオット」では「ゲルニカ」で手に入る全てのコンテンツに加えて、

・魅惑の拉致監禁１泊２日の旅
・ミシュランミーティング
・「精神と時の部屋」での秘密訓練
・物の見方セミナー（２月～６月にかけて開催）
・２０１４年に催される和佐大輔主催のシークレットイベントへ特別招待

これらのイベントに直接参加し、**和佐大輔と一夜を共にする**権利を手に入れることができます。

参加者は３０名様限定とし、価格は２５万円となります。

※お支払い方法はクレジット　一括払い・クレジット分割払い（最大２４回）と銀行振込一括払いから選べます。２４回払いの場合は月々約１０，４００円の支払いになります（カード会社によって分割手数料は異なります）

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

注意事項と募集期間

今回は、来年の１月からスタートする２４の衝撃の「先行募集」です。

先行募集の期間は、１１月９日１８時～１１月３０日までとなります。

この期間中に申し込んでいただければ、こちらの「先行募集限定」のボーナスコンテンツを手に入れることが出来ます。

１．ハード・トランス ～たった１人で観客の心を鷲掴みにする極意～
２．Dの誘惑 ～ハッタリで人を動かす～（ゲルニカ限定）
~~３．和佐流・ストーリーテリングメソッドセミナー（先着１００名限定）~~

これらのボーナスコンテンツは、１１月３０日まで限定のものになります。

そしてさらに、「**いきなり最初の半年で自分の常識をぶっ壊したい**」という**ドM**のあなたに向けては、「プラン・パトリオット」という最上位プランも用意してあります。

「プラン・パトリオット」は、限定３０名の枠が埋まるか、あるいは１１月３０日が過ぎるかのどちらかで、完全に封印される幻のプランですので、**「２０１４年は１００回ぐらい殺されて、生まれ変わりたい」**と強く願う人は、迷わずこちらにお申し込みください。

また、今回の先行募集では「プラン・ベンジャミン」の申し込みは受け付けていません（「プラン・ベンジャミン」の受付は１２月以降になります）。

今回申し込むことが出来るプランは、「パラディン」「ゲルニカ」「パトリオット」の３種類となります。

以上のことを確認の上、「今、この瞬間に」覚悟を決めて、常識や思い込みと決別し、新しい人生の主人公になるか、それとも、「決断を先延ばし」にして、修行に励むかを決めてください。

僕たちはもちろん、今すぐにあなたが勇気を出して飛び込んでくれることを願っています。

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

２４回死んで、２４回生まれ変わった時、あなたはこれまでに体験したことのない感情に襲われることでしょう

「ベンジャミン」の話をしたとき、常識というフィルターが外れたときに見える景色は「１７歳の放課後」のようだと言いましたが、そう言えばそれを象徴するエピソードが今年の８月にありました。

神戸で大輔さんと一緒に宮崎駿監督の映画『風立ちぬ』を見に行ったときのことです。

夏休みで超満員の映画館の中で、僕は人目もはばからずに鼻水を垂らしながら号泣してしまったのです。

大輔さんには大爆笑されましたが、実は映画を見て涙を流したのは、これが生まれて初めての体験でした。

しかも、まわりに大勢の人がいる映画館で。

このとき僕は、自分の中にあったくだらないプライドやブロックが、いつの間にか壊れていたんだということを、実感しました。（正確には隣に座っている男の手によって、木っ端微塵に破壊され尽くしただけなのですが）

そして同時に、これまで僕はどれだけ多くのことを無意識のうちに我慢していたのだろうかと思い、ハッとしました。

あなたはどうですか？

もしあなたが、現在の日常に違和感を抱いているのだとしたら、迷わず飛び込んできてください。

ワンピースの登場人物ような人生を生きることは、今からでも可能です。
海賊王になりたいと思うならなればいいし、なりたくないのなら別のことをすればいい。

だけど、大事なのは何をするにしても１００％自分の意思で選ぶことです。

その方が生きてて気持ちいいですから。

では、次は２４の衝撃のUstreamでお会いしましょう。

ありがとうございました。

三浦洋之

お申し込みはこちらをクリック

※今回の先行募集は１１月３０日までです。

追伸：

僕がこの手紙で伝えたかったことは、「ゲルニカ」のところでピカソが一言にまとめてくれているので、これ以上僕からいうことはありません。

ピカソのような目で世界を見れたら、どれだけ毎日が楽しいことだろうか？

きっとアイディアが止まらなくて夜も眠れないんだろうなあ。

そんなことを妄想しながら、僕はこの手紙を書きました。

サラリーマンだったころは、ただひたすら退屈な毎日から抜け出したくて必死だったけど、まさか起業することでお金はもちろんだけどそれと同時に、青春の感覚が蘇るとは思ってもみませんでした。

起業して、この１年間で何人の一生モノの仲間と出会えたことか。

起業して、この１年間で何日悔しくて眠れなかったことか。

起業して、この１年間で何度心の底からのガッツポーズしたことか。

起業して、この１年間で何回腹の底から「ありがとう」と言ったことか。

起業して、この１年間でどれほど生まれてよかったと思えたことか。

それは全て、社会人になってから僕の中で封印され、錆び付いていた宝物でした。

人生を変えるのは難しいことではありません。

しかし、決して簡単でもない。

大切なのは自分の可能性を諦めないこと。

だだそれだけではないでしょうか。